
-孤独- 2

naokiblog

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

一孤独ー 2

【Nコード】

N6754P

【作者名】

naokiblog

【あらすじ】

小学5年生になった。

俺は、新しい友達が増えた。

またこれも、嬉しかった。

のように、思えたのも今のうちだった・・・。

(前書き)

この小説はノンフィクションです。

が、そう思えたのも、つかの間であった・・・。

というと、小学五年生で友達になった「K」と友達になって数日経つと、他の三人とも一緒に登校する事になったのと、「A」とクラスが同じではなかったからだ。

一人は、「O」という名前で、もう一人は「I」という名前であった・・・。

そして、まさかのもう一人が・・・

「A」であったのである。

俺は、一気に友達が増えたと思った・・・。

「毎日楽しく学校へ登校できる・・・」

そう思ったのである。

だが、現実はその甘くはなかった・・・。

なぜなら、「K」は、ある男子と一緒に学校でイジメをし始めたからである・・・。

そう、俺に対してのイジメを・・・。

そのある男子の名前は「Y」であった。

「ハゲ」「ハゲコックさん」

と毎日悪口を言われ、また「孤独」が戻ってきた・・・。

イジメも毎日続くようになった・・・。

そんな毎日を耐えて、耐えて、とうとう・・・。

小学六年生になったのである。

嬉しい事に、「A」と同じクラスになれたのである。

俺は、嬉しくてしょうがなかった。

さっそく、「A」に話し掛けた・・・。

しかし、「A」の俺に対しての反応が明らかに変わった・・・。
そう「避けられていた」のである。

「何かの間違いだ・・・違う・・・そんなはずはない」

と思ったが、現実には現実であったのである・・・。

それに、俺にイジメをする人が勢揃いしていたのである・・・。

あの「S」も・・・。

それに、「I」と「O」絡みの人が俺にイジメをしてきたのである。

しかも同じクラスであった・・・。

その人達の名前は「W」と「N」と「K」と「K」という名前であった。

ある日、「N」に、こう言われた・・・

「鬼ごっこしようぜ。」

と。

こう答えた・・・

「あー・・・いいよ。」

仕方なく遊ぼうと思った。

遊ぶ人がいなかったからである。

そして、やろうとすると他の人もいたのである。

それは、「W」と「K」と「A」と「I」と「O」と「K」と、

それにもう一人いた。

もう一人の名前は「I」であった。

何か嫌な予感がしたがやることになった。

まず、鬼を決めるためのジャンケンからだと思ったが・・・。

「パン!!」

と「N」が手を叩いて皆が一気に座った。

そして俺は何の事か判らず、座り遅れた。

すると「N」がこう言った・・・

「お前一番遅かったから、お前鬼ね」

と、ニヤけながら言った。

「ハメられた・・・」

とも思いつつ、鬼をやる事になった。

俺はスタミナの続く限り走って走って・・・

ついに「N」をタッチした。

が、「N」はこう言った・・・

「当たってないよ、掠^{かす}ただけだから、無しね」
と、またもやニヤけながら言ったのである・・・。

「じゃあ、一生タッチできないじゃん」

と言おうとしたら、すでに「N」は居なかった・・・。

もう時間が無くて、朝の休み時間終了のチャイムが鳴った。
しょうがなく教室に戻った・・・。

そしていくつかの授業が終わり、昼休みになった。

すると、また「N」が誘ってきたので、やる事になった・・・。

また、「N」が手を叩き鬼になった・・・。

また、例のルールで誰にもタッチできず、昼休みが終わり、授業を
受け学校が終わった。

そして俺は、家に帰った。

風呂に入って、御飯を食べ寝る時間になって部屋のドアを閉めて布
団に入った・・・。

今日の出来事を思い出して、泣きそうになった・・・。

が、涙を思いつきこらえた・・・。

これほど涙をこらえたのは、初めてであった。

「A」にも避けられ、いろんな人たちからイジメを受ける・・・。

本当の、「孤独」だ・・・。

苦しい・・・。つらい・・・。

そう思うとまた涙が出そうになった・・・。

また涙をこらえた・・・。

さすがに眠くなり、悲しい眠りに堕ちた・・・。

(後書き)

はじめまして、naokiblog及びとある人間です（＾Ｏ＾）／。

今回は自らの過去を小説にする事を決めさせていただきました。

ついでに、ツイッター（Twitter）の方もやらさせていただきます
いております。↓<https://twitter.com/naokiblog>

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6754p/>

-孤独- 2

2010年12月31日06時16分発行